

# 郡市医師会 だより

## 上川郡中央医師会 学術講演会

上川郡中央医師会  
北海道医報通信員

水野清司

上川郡中央医師会では、会員の生涯研修事業の一環として学術講演会を開催した。

**日時** 平成18年9月9日（土）  
**場所** 旭川パレスホテル  
**主催** 上川郡中央医師会学術部  
**後援** ファイザー株式会社  
**演題** かかりつけ医における認知症の診断と治療  
**演者** 旭川赤十字病院 神経内科  
部長 吉田一人先生

高齢化社会の進行とともに、痴呆（認知症）性疾患の患者数の増加は医療の面からも介護の面からも、ますます深刻な問題になっており医療関係者にとっては身近で重要な問題であり「かかりつけ医」が日常遭遇する機会が多くなった認知症の臨床を研修することも大切である。

認知症の原因となる疾患も多いが、その種類は脳梗塞、脳出血は脳血管性認知症、アルツハイマー型認知症と脳血管性認知症との混合型、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症など臨床診断基準による鑑別について画像を多用し、また最近急増しているアルツハイマー型認知症の進行をくい止める効果をもつアリセプトについての治療も報告され、その他の薬物療法のポイントについても解説された。

今後も地域医療を行っている「かかりつけ医」も認知症診療のためには病診連携が必要であり、連携医療の役割を担ってゆきたいと講演された。

豊富なデータをもとにスライドを多用され理解しやすく解説され「かかりつけ医」にとっても極めて有意義な講演会であった。

質疑応答も多く講演会を盛況のうちに終わることができた。さらにその後の情報交換会では、椎名会長の謝辞の後、講演会では聞けなかった興味深い話題も出て会員共々和気あいあいに過ごし、木下副会長の締めで無事終了した。

吉田先生にはご多忙の中、私たちのため講演会の時間を割いていただきましたことを心からお礼申し上げます。

